

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Dブロック】

【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
B・C・D・F	音楽	オーケストラ等	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	○	○	○	○	♪心に響くハーモニー♪ オペラハウス専属オーケストラで聴くオペラの名曲！	●ビゼー/歌劇「カルメン」より 前奏曲 ●楽器紹介 ●マスカニー/歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲 ●オペラ・アリア ●校歌合唱 ●指揮者体験コーナー ビゼー/歌劇「カルメン」より 前奏曲 ●共演コーナー 杉本 竜一/ビリーヴ ●チャイコフスキー /ハレエ組曲「くるみ割り人形」より ” 花のワルツ ” ●シュトラウス1世 /ラデツキー行進曲 等	
D・E・F	演劇	児童劇	劇団うりんこ	○	○	○	○	ともだちや ーあいつもともだちー	「ともだちや ーあいつもともだちー」 原作：内田麟太郎（「ともだちや」「あいつもともだち」「ともだちごっこ」偕成社） 脚本・演出：佃 典彦(B級遊撃隊) 美術：青木拓也 衣装：木場絵里香 音楽：内田アダチ 音響：椎名KANS 振付：下出祐子	
D・E	演劇	児童劇	劇団風の子	○	○	○	-	みて、さわって、あそべる、ソノヒカギリ美術館OPEN!!	「ソノヒカギリ美術館」 原案/村井昌世 作/ソノヒカギリ美術館製作委員会 構成・演出/大洞弘幸 美術/ナカムラジン 身体表現/若林こうじ 音楽/青柳拓次 制作/浅野井優子	
A・D	伝統芸能	演芸	パントマイム&クラウン「劇団汎マイム工房」	○	○	○	○	あらい汎の「マイム・ひとり旅」	あらい汎の「マイム・ひとり旅」 構成・演出 あらい汎	

【A区分・B区分団体】

D	音楽	合唱	公益財団法人 東京二期会 (二期会合唱団)	○	○	○	○	二期会合唱団 公演	第1部 「花は咲く」「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」 「フレンチ・カンカン」 「パプリカ」「希望の歌」 ※曲は一部変更になる可能性があります。 第2部 モーツァルト作曲 オペラ『魔笛』ハイライト	
D	音楽	オーケス トラ等	新日本フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	新日本フィルハーモニー交響楽団 —オーケストラ魅力発見コンサート—	J・ウィリアムズ：スター・ウォーズより「メイン・タイトル」久石譲：オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より、「さんぽ」ほか抜粋 ＜指揮者コーナー＞ドヴォルザーク：スラブ舞曲集第1集op.46より第1番ハ長調、アンダーソン：トランペット吹きの日 学校校歌 アンコール） ロッシーニ：ウィリアム・テル序曲（スイス軍の行進） 等	
D	音楽	オーケス トラ等	東京ニューシティ管弦楽団	○	○	○	○	体を震わす響き！ オーケストラとオペラの音楽の華麗な世界	＜第一部＞ 指揮者体験コーナー 使用曲 ビゼー：歌劇「カルメン」より前奏曲 等 ＜第二部＞ ビゼー：歌劇 「カルメン」より-日本語またはフランス語歌唱- メゾ・ソプラノ独唱 によるカルメンの世界 合唱で共演 杉本竜一/「ビリーヴ」、平井夏美/「瑠璃色の地球」 等 吹奏楽で共演 J.シュトラウス1世/ラデツキー行進曲（愛水長調） 等	
D	音楽	オーケス トラ等	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	○	○	○	○	♪心に響くハーモニー♪ オペラハウス専属オーケストラで聴くオペラの名曲！	●オープニング ワーグナー/歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲 ●指揮者体験コーナー ビゼー/歌劇「カルメン」より 前奏曲 ●共演コーナー（吹奏楽または合唱） スーザ/星条旗よ永遠なれ、久石 譲/君をのせて 等 ●オーケストラ演奏 エルガー/行進曲「威風堂々」第1番 ◆アンコール ヴェルディ/歌劇「椿姫」より 乾杯の歌	
D	演劇	児童劇	有限会社 劇団あとも	○	○	○	○	あとももの素劇ミュージカル	『あともものはアンデルセン～遊びバージョン～』 原作/ハ. C. アンデルセン 脚本/美明・関矢幸雄 構成・演出/関矢幸雄 音楽/クニ河内 美術/有賀二郎	
D	演劇	児童劇	人形劇団ひとみ座	○	○	○	-	大江戸人形喜劇 「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」 原案/十返舎一九「東海道中膝栗毛」 脚本/佃典彦(劇団B級遊撃隊) 演出/山本コーソウ 人形美術/伊東亮 舞台美術/田坂晴男・本川東洋子 音楽/やなせけいこ 音響/田辺正晴 照明/石川晋次	R2 (継続)	
D	演劇	演劇	劇団東京芸術座	○	○	○	○	みんなでチャレンジ 創造体験！	「Challenge+ed(チャレンジド)～遠い水の記憶～」 原作/神島正子 脚本・演出/印南貞人 作曲/川本哲 照明/矢口雅敏 音響/中嶋直勝 衣裳/山田瑞子	
D	演劇	ミュージカル	オペラシアターこんにやく座	○	○	○	-	オペラ『森は生きている』	オペラ『森は生きている』 原作：サムエル・マルシャーク(訳：湯浅芳子) 作曲：林光 台本：林光 演出：眞鍋卓嗣 振付：白神ももこ	
D	舞踊	バレエ	一般社団法人法村友井バレエ団	○	○	○	○	バレエを学んで体験「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演	「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演 作曲：チャイコフスキー 原振付：プティパ 改訂振付：法村友井バレエ団	
D	伝統 芸能	歌舞伎 ・能楽	公益財団法人鎌倉能舞台	○	○	○	○	【字幕解説付き】わかりやすい能・狂言鑑賞体験教室～日本の伝統文化を知ろう～	■狂言「栲山伏」 ■能「小鍛冶」	
D	伝統 芸能	歌舞伎 ・能楽	一般社団法人善竹狂言事務所	○	○	○	○	能 & 狂言 を忘るべからず	■大藏流 狂言『栲山伏』 ・種類：鬼・山伏狂言、分類：山伏狂言 ・監修：善竹十郎 ■大藏流 狂言『蘭』(代表生徒・児童との共演) ・種類：鬼・山伏狂言、分類：山伏狂言 ・監修：善竹十郎 ■能仕舞『羽衣』 クセ・キリ	
D	伝統 芸能	邦楽	太鼓芸能集団 鼓童	○	○	○	○	鼓童の交流学校公演	①太鼓演奏(大太鼓[鼓童編曲]、屋台囃子[鼓童編曲]ほか全体で5～6曲) ②太鼓体験 ③トーク(メンバー自己紹介、楽器の紹介など)	
D	伝統 芸能	演芸	めばえ寄席「○○亭」	○	○	○	○	めばえ寄席「○○亭」 ＊○○は生徒さんの公募により決定。	①落語 ②色物 ③上方落語(剣うどん、動物園 等) ④大喜利 ⑤色物(曲ゴマ 等) ⑥落語(乾矢気、牛ほめ 等)	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については、実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し、文化庁(事務局)、実施団体、実施校間において、必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため、各企画の出演希望調書では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から、「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, ☐ オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・☐ C 区分

複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。)

☐ あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
☐ (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他 ()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	がっこうほうじん おおさかおんがくだいがく 学校法人 大阪音楽大学		
代表者職・氏名	理事長・中村 孝義		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号 (最寄り駅: 阪急宝塚線 庄内駅)		
電話番号	06-6336-2001(直通)	FAX 番号	06-6331-4300
ふりがな 公演団体名	かんげんがくだん ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団		
代表者職・氏名	ザ・カレッジ・オペラハウス館長・中村 孝義		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号 (最寄り駅: 阪急宝塚線 庄内駅)		
制作団体 設立年月	1988 年 4 月		
制作団体 組織	役 職 員 理 事 長 中村 孝義 副理事長 本田 耕一 常任理事 十川 輝明 福井 慎吾 岡野 幸義	団体構成員及び加入条件等 ■大阪音楽大学 教職員数 628 名 学生数 1,077 名 (令和2年7月1日現在) ■ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 別紙参照 (令和2年4月1日現在)	
事務体制の担当	専任・ ☐ 他の業務と兼任	本事業担当者名	オーケストラマネージャー 齋藤 秀之
経理処理等の 監査担当の有無	☐ 有・無	経理責任者名	連携・演奏事務部門長 江良 成人

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団



「大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス」の専属管弦楽団として、1988年4月に組織。定期演奏会は2019年11月で56回となった。

ザ・カレッジ・オペラハウス主催オペラ公演の管弦楽を担当。また発足当初より学生の研究、学習をサポート。学外では1999年ザ・カレッジ・オペラハウスの引越し公演として、東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて黛敏郎《金閣寺》の管弦楽を担当。この公演を含む多彩な演奏活動が認められ、2000年第20回音楽クリティック・クラブ賞を受賞。以降も多くのオペラの成功に貢献している。

2005年9月新国立劇場における「地域招聘公演」第1回として松村禎三《沈黙》の管弦楽を担当、公演は大きな反響を呼んだ。2005年10月ザ・カレッジ・オペラハウスでの《沈黙》および2011年10月の20世紀オペラ・シリーズ、B.ブリテン《ねじの回転》の公演では文化庁芸術祭大賞を受賞。2013年同シリーズ、B.ブリテン《ピーター・グライムズ》の公演では第22回三菱UFJ信託音楽賞を受賞し、1997年ザ・カレッジ・オペラハウスにおける黛敏郎《金閣寺》の公演での第6回三菱信託音楽賞受賞に続く快挙を果たした。

さらに2014年10月の同シリーズ、鈴木英明《鬼娘恋首引》およびB.ブリテン《カーリュー・リヴァー》の公演は、狂言と能を題材にした内容と上質な演奏が高く評価され3度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。2015年創立100周年記念オペラ公演、G.ヴェルディ《ファルスタッフ》の公演では文化庁芸術祭優秀賞を受賞。以上、数々の受賞に貢献している。

名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンスン、正指揮者到大勝秀也、牧村邦彦を擁している。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

《オペ管》の愛称で親しまれている。

[ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オフィシャルホームページ]

<https://www.daion.ac.jp/campus/opera/opera-orchestra/>

学校等における 公演実績	◇学校等公演実績 桜ヶ丘幼稚園創立 50 周年記念演奏会、大阪府立交野高等学校創立記念式典、摂津市立第四中学校音楽鑑賞会、大阪府立吹田東高等学校創立 30 周年記念演奏会、摂津市立第一中学校音楽鑑賞会、山陽女子高等学校音楽鑑賞会、豊中市立第十二中学校音楽鑑賞会、神戸市立六甲アイランド高等学校音楽鑑賞会、石巻市立門脇小学校・門脇中学校、石巻専修大学、女川町立第一小学校・第二小学校・第四小学校、女川町立第一中学校・第二中学校、大阪府立大学工業高等専門学校音楽鑑賞会、大阪府高齢者大学校、その他大阪市内小学校公演(大阪市・青少年芸術体験事業)など ◇文化庁巡回公演事業 ・平成 25 年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」にて 24 公演を実施。 ・平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 19 公演を実施。 ・平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 17 公演を実施。 ・平成 28 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 17 公演を実施。 ・平成 29 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 8 公演を実施。 ・平成 30 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 12 公演を実施。 ・令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」にて 11 公演を実施。		
特別支援学校に おける公演実績	○平成 24 年度 大阪市・青少年芸術体験事業にて 実施校:平野特別支援学校 ○平成 25 年度 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」にて 実施校:富山県立富山視覚総合支援学校 ○平成 26 年度 「文化芸術による子供の育成事業」にて 実施校:杉並区立済美養護学校 ○平成 27 年度 「文化芸術による子供の育成事業」にて 実施校:宮崎県立日南くろしお支援学校 ○平成 30 年度 「文化芸術による子供の育成事業」にて 実施校:広島県立庄原特別支援学校		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	☐有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://www.youtube.com/watch?v=Sebu_YVVuRM ※ 映像はオーケストラ編成が合致するものではございませんが、参考としてご使用いただきたく存じます。
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	限定公開 URL の為、ID 及びパスワードの入力は必要ありません。

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【 公演団体名:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年)				・	中 学 生
企画名	♪心に響くハーモニー♪ オペラハウス専属オーケストラで聴くオペラの名曲！					
本公演演目	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 オーケストラ公演プログラム ●オープニング ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲 ●楽器紹介 ～弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話と演奏を交えながら紹介していきます～ ●オーケストラ演奏 マスカーニ / 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲 ●オペラ・アリア ～プロの歌手による歌声をお届けします～ - 休憩 10～15 分 - ●校歌合唱 ～オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう！！～ ●指揮者体験コーナー ～君も未来のマエストロ♪オーケストラの指揮を体験♪～ ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲 ●共演コーナー ～合唱してみよう！～ 杉本 竜一 / ビリーヴ ●オーケストラ演奏 チャイコフスキー / バレエ組曲「くるみ割り人形」より ”花のワルツ” ◆アンコール シュトラウスⅠ世 / ラデツキー行進曲 ※上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。					
原 作 / 作 曲						
脚 本						
演 出 / 振 付						
著作権	制作団体が 所有		制作団体以外が所有する事 項が含まれる	公演時間(約 80 分)		
				(制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾の有無		

演 目 概 要	<u>ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲</u> 演奏会のオープニングは、フランスの作曲家ビゼーが作曲した【歌劇「カルメン」より前奏曲】で華やかにスタートいたします。 「カルメン」は上演されることの多い人気の高いオペラで、特にその中の「前奏曲」は単独でもオーケストラコンサートなどでよく演奏されます。 この有名な音楽は、演奏会の幕開けにふさわしく子供たちをオーケストラの世界へグッと惹きつけます。 <u>楽器紹介</u> オープニングの余韻に浸りながら、楽器紹介へと続いていきます。 弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器を楽しみながら演奏を交えながら紹介していきます。 <u>マスカーニ / 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲</u> オーケストラの楽器紹介で楽しく会場が盛り上がった後はちょっと一息おいて、オーケストラの演奏を聴いて頂きます。 イタリアのオペラ作曲家マスカーニが作曲した歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」は、激しく深刻な雰囲気でも物語が進みますが、この「間奏曲」はこれを静めるかのような甘くゆったりとした美しい音楽です。 <u>オペラ・アリア</u> [独唱＝ひとりで歌うこと] オーケストラの演奏に続いて、プロの歌手によるオペラ・アリアを聴いて頂きます。 オーケストラの楽器とは違い身体が楽器となる声楽家の会場一杯に響き渡る甘く美しい歌声や表情と華やかな衣装などにも注目していただきながら第 1 部のクライマックスへと導きます。 - 休憩 10～15 分 - <u>校歌合唱</u> 休憩でリラックスしたあと、第2部は校歌斉唱からスタートいたします。 普段、ピアノ伴奏やCDなどに合わせて歌う校歌を、プロのオーケストラの演奏をバックに、児童・生徒のみなさんに歌っていただきます。 世界で一つだけの特別バージョンの校歌で思い出に華を添えます。 <u>指揮者体験コーナー</u> 指揮者から指揮についての役割などをわかりやすく説明していただき、児童・生徒のみなさんの中から代表で3名の方にオーケストラの指揮に挑戦していただきます。 曲は、オープニングでお聴きいただきましたビゼー作曲の【歌劇「カルメン」より前奏曲】です。 お客さんへお辞儀をして指揮台に乗ったときのドキドキ・ワクワクする緊張感、指揮棒を振りおろすと目の前でオーケストラが鳴り出す臨場感、曲の最後まで振り切った時の達成感などをより身近で体感していただきます。 <u>共演コーナー</u> 校歌に続き、児童・生徒のみなさんに合唱で参加いただきます。 曲は杉本竜一作曲の【ビリーヴ】です。 参加人数にもよりますが基本的にはその場で立っていただき、オーケストラと対面した状態で歌っていただきます。 曲の歌詞に思いを込めて校歌とはまた一味違うサウンドを楽しみながら、オーケストラと児童・生徒、会場の皆さんで一体となって共演していただきます。
----------------	--

チャイコフスキー / バレエ組曲「くるみ割り人形」より “花のワルツ”

演奏会のフィナーレは、ロシアの作曲家チャイコフスキーによる【バレエ組曲「くるみ割り人形」より“花のワルツ”】を優美にお届けいたします。

「くるみ割り人形」は3大バレエとして有名なチャイコフスキーのバレエ音楽の中の1つで、メルヘン的な雰囲気を持っているのが特徴です。

物語はクリスマスの夜のお話で、“花のワルツ”は物語の後半、おとぎの国の妖精たちがお菓子の国でダンスを踊る場面の音楽です。

シュトラウスⅠ世 / ラデツキー行進曲

演奏会はフィナーレを迎えますが、アンコールの手拍子にのせてもう1曲。

シュトラウス作曲の【ラデツキー行進曲】を最後にお届けします。

是非手拍子でご参加ください。

楽しい雰囲気に包まれコンサートは幕を閉じます。

【ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オーケストラ公演演目について】

— 開催校からの感想より —

「体育館いっぱいに響く素晴らしい演奏に大きな感動をいただいた。」

「初めてオーケストラ演奏を鑑賞する児童も多く、大変貴重な経験をさせてもらったと感謝している。」

「演奏曲も児童に馴染みのある曲が多く、楽器の紹介もわかりやすかった。さらにオーケストラとの「校歌」と「ビリーヴ」の共演では生き生きと楽しそうに歌う児童が印象的だった。」

「この経験をこれからの音楽教育に役立てていきたいと思う。」

「子供たちだけでなく、職員の中でも「今までで一番よかった!」「本物を聴けてよかった!」という声があちこちから聞こえ、いかに本公演が素晴らしかったかを改めて感じました。」

演目選択理由

未来の文化の担い手となる子ども達の発想力やコミュニケーション能力の育成・芸術鑑賞能力の向上など総合的な子供育成に寄与すると共に、本公演でオーケストラ鑑賞を体験した子ども達が将来芸術家を目指すきっかけ作りとなる事を願いプログラムを構成いたしました。

クラシック音楽をより親しみやすく感じていただけるように様々なシーンで聞かれることの多い名曲を選択いたしました。また、司会者によるわかりやすい曲目説明によって、初めて聴くオーケストラにも興味をもってもらえるようにいたします。

楽器紹介では弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器のそれぞれの音色の違いについてお話とともに実際に音を聴いていただく事によって楽器の特徴を知り、興味を持って聴いてもらえるようにいたします。

『オペラ』を得意とする楽団の特色を活かし、オーケストラ伴奏と共にプロの歌手がオペラ・アリアを歌います。

歌声が会場一杯に響き渡り体育館がまるで音楽ホール(オペラハウス)のようになるのを感じていただきます。

共演では普段歌っている校歌とビリーヴをオーケストラと一緒に共演していただき一生の思い出となる体験をして頂きます。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	コンサートの後半に3つの児童・生徒の皆さんに参加していただくコーナーをご用意しております。 <u>校歌合唱</u> 校歌をオーケストラ版にアレンジし、プロのオーケストラの演奏で児童・生徒の皆さんに歌っていただきます。普段歌っている校歌がオーケストラの伴奏でどのように変わるのかは演奏会当日までのお楽しみです。子供たちの心に残る一生の思い出になるでしょう。 <u>指揮者体験コーナー</u> 演奏会当日、3名の児童・生徒の皆さんにオーケストラの指揮に挑戦していただきます。誰が選ばれるかはその時までのお楽しみです。指揮棒の動きに合わせて出てくるオーケストラの音の強弱やテンポ(速さ)の違いなど間近で体感していただきます。 <u>共演コーナー</u> 合唱での共演形態で「ビリーヴ」をオーケストラの伴奏と一緒に歌っていただきます。
出演者	[指揮] 大勝 秀也 または 牧村 邦彦 他(予定) [歌と司会] 内藤 里美 または 北野 智子 他(予定) [管弦楽] ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 2,2,1,1-2,1,1,0-Timp,1Perc,Hp-Str(3-2-2-1-1)
公演出演予定者数 (1公演あたり)	指揮者： 1名 歌と司会： 1名 弦楽器： 10名 (Vn.Ⅰ=3、Vn.Ⅱ=2、Va.=2、Vc.=1、Cb.=1、Hp.=1) 管楽器： 10名 (Fl.=2、Ob.=2、Cl.=1、Fg.=1、Hr.=2、Tp.=1、Tb.=1) 打楽器： 2名 (Timp.=1、Perc.=1) スタッフ： 6名 (チーフマネージャー、オーケストラマネージャー、 ステージマネージャー、ライブラリアン、舞台スタッフ) 合 計： 30名
機材等 運搬方法	積 載 量： 2t 車 長： 約 6.3m 車 高： 約 3.1m 車 幅： 約 2.0m 台 数： 1台 ※大型楽器(ティンパニ・ハープ・コントラバス)や舞台用ひな壇(平台)等を運搬しますので、2tトラックが体育館に横付けできることが望ましく、 <u>学校敷地内に 2tトラックが乗り入れ可能であることを前提としてお考えください。</u> また、学校の周辺道路が「トラック進入禁止」などの規制がないことを事前にご確認頂きますようお願いいたします。

【 公演団体名 : ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・☐無) ※基本的には前日仕込みはありませんが、会場条件によっては前日仕込みをさせて頂く場合がございます。 例) 午後の開催が難しく午前中の開催となる場合などは前日の仕込みが必要になります。 会場設営の所要時間(2 時間～2 時間半程度) 例) 14:00 開演の場合 08:00 楽器搬入、仕込み 11:30 リハーサル 13:30 開場 14:00 開演 15:20 終演、バラシ 17:50 撤収完了(予定) 上記スケジュールは目安です。会場条件によって変更となる場合がございます。	
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	特に制限なし(実施会場に入る範囲内で)
	本公演	特に制限なし(実施会場に入る範囲内で)
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	～前半はプロの楽団員によるオーケストラのお話や楽器の紹介、ミニコンサートなど～ 楽器紹介ではオーケストラが弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の4つのグループで出来ている事を説明し、楽器ごとに順番に紹介していきます。 子供たちが頭の中でイメージしやすいように、各楽器の実寸大のパネルを持ち込み楽器の形(長さ)や大きさや演奏方法の違いなどをわかりやすく説明いたします。 開場設備の条件にもよりますがプロジェクターを利用して画像投影を行う場合もあります。 また、弦楽器の弓や弓の毛の材料、弦やコマなどの本物のパーツを用意し、バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバスの弦の太さやコマの大きさの違いなどを見比べて頂く事ができます。 日程によって楽器の組み合わせは様々となりますが、それぞれの楽器の演奏はもちろん、オリジナル編成でのアンサンブル演奏をお届けいたします。 指揮についても本公演の指揮者体験コーナーを見据え本公演の曲と同じ2拍子での指揮の練習を全体で行います。 ワークショップでは何名かの児童・生徒の皆さんに指揮に挑戦していただくことで本公演での指揮者体験に繋がるよう心がけます。 ～後半はプロのオペラ歌手による歌唱指導、ミニコンサートなど～ 歌唱指導については、身体の仕組みや発声に関する説明、呼吸法・体操なども交えながら行います。歌を通じて相手に対する思いやりや何かを伝えることの大切さなどを感じる事ができるよう心がけます。	

ワークショップ 実施形態の意図	一子ども達が音楽を 目 と 耳 と 心 で楽しむ気持ちを育みたいー ワークショップにて事前に本公演での共演曲目の指導を行うことで、本公演に向けての課題を明確にいたします。 オーケストラのお話や楽器紹介をする際には実寸大の楽器パネル(組立式)を持ち込み、楽器の実際の大きさを説明いたします。会場条件によってはプロジェクターを使っでの画像投影や資料説明を行います。 また実際に本公演で使われる楽器の演奏を聴くことで子供たちに楽器や音楽に対して興味を持ってもらい、本公演がより充実する為のワークショップとなるよう努めてまいります。 ワークショップでは、より近い位置で鑑賞していただき楽器の形や奏者の息づかいなどを直に感じられるよう意識して取り組んでおります。 歌唱指導では歌詞の意味、友達を思う心、一緒に歌う事の感動を大切に伝えられるように心がけております。
特別支援学校での実施における工夫点	基本的には変更なく実施できると思いますが、学校の先生方とよく話し合い、できる限りご要望に沿えるよう柔軟に対応させていただきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

＜ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団＞(出演予定)

指揮：大勝 秀也 または 牧村 邦彦 他(予定)

● コンサート・ミストレス：赤松 由夏(予定) ● 歌と司会：内藤 里美 または 北野 智子 他(予定)

Violin I
第1ヴァイオリン

赤松 由夏
山根 朋子
井上 なつき

Cello
チェロ

皆川 隼人

Clarinet
クラリネット

松尾 依子

Timpani
ティンパニ

安永 早絵子

Contrabass
コントラバス

丹澤加奈子

Fagot
ファゴット

岡本 真弓

Percussion
パーカッション

大竹 秀晃

Violin II
第2ヴァイオリン

景山 映子
池上 尚里

Flute
フルート

江戸 聖一郎
菱田 弓子

Horn
ホルン

川村 真菜美
奥 祐里恵

Harp
ハープ

山根 祐美

Viola
ヴィオラ

上野 亮子
森永 愛子

Oboe
オーボエ

福田 由美
高橋 幸子

Trumpet
トランペット

高木 宏之

Trombone
トロンボーン

岡村 哲朗

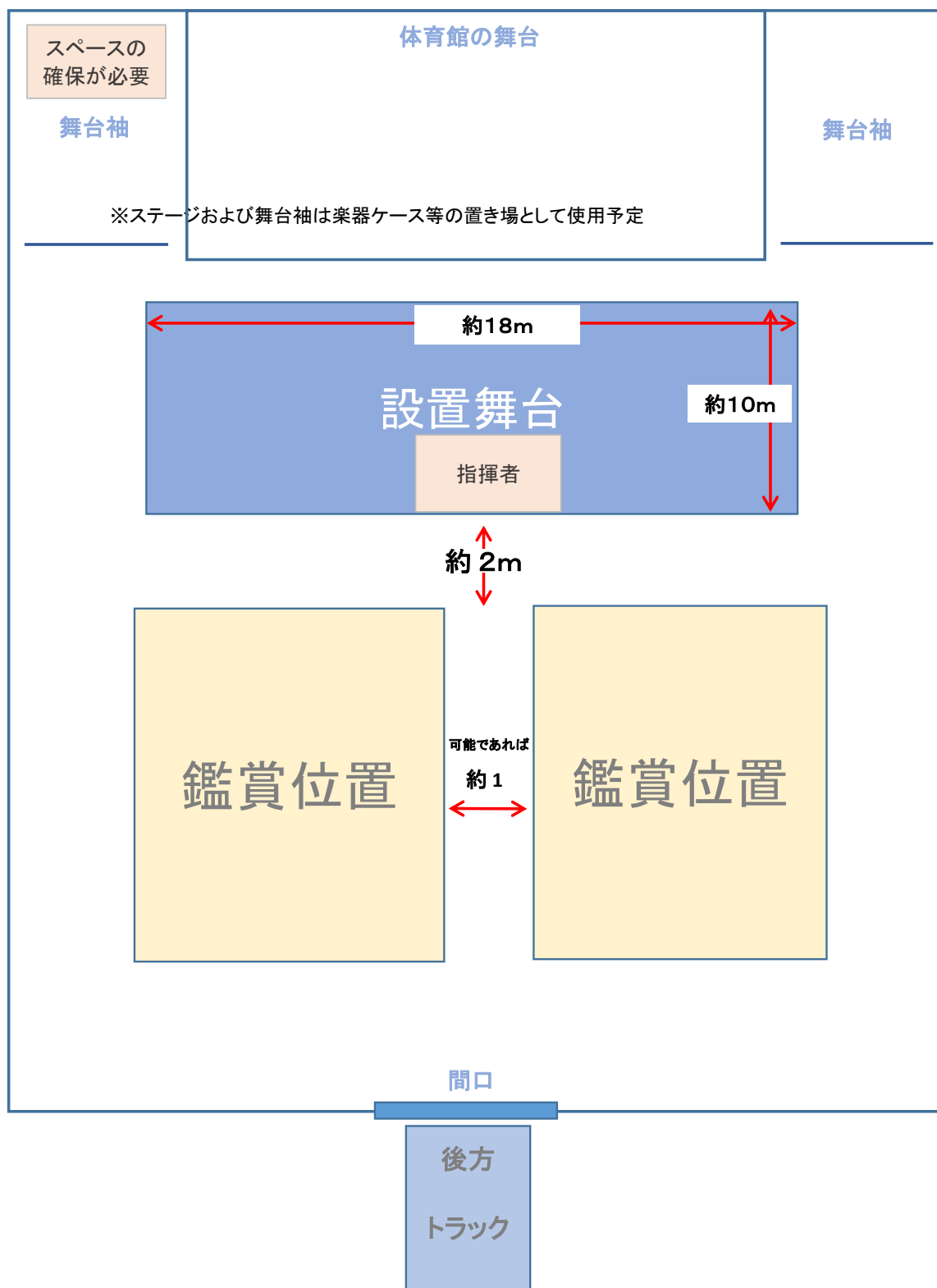
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	256	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	C区分
公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団				制作団体名	学校法人 大阪音楽大学			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者1室、ソリスト1室、オケ1室、オケ1室 ※着替え用であるためカーテン等で目隠しが出来る部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック 1台		大型バス 1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック(ロング)車高3.1m 全長6.3m 車幅2.0m				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内				
	可	搬入経路の最低条件			2t×1台分の物量があり、すべて人力で持ち上げて移動させるため横付けできない場合は要相談となりますが、雨天時の対策が必要不可欠であること(3m50cm以上の屋根が必要)と、横付けできない場合は状況にもよりますが搬入・搬出時にお手伝いをお願いする場合があります。 ※調整の際に一度ご相談いただけたら、検討させていただきます。				
		理由			大型楽器(ティンパニ・コントラバス・ハーブ)等の搬入をするため				
	可	設置階の制限 *			2階以上の場合、お手伝いをお願いすることもあります。				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m以上が望ましい	高さ	2.2m以上が望ましい			
WSIについて	可	参加可能人数			特に制限なし				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			80分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			特に制限なし				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	18m	奥行	10m	高さ	-	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物がない状態		
	可				緞帳 *	要	バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	リハーサル・本番中に日差しが入ると公演の妨げになるため、カーテンがない場合は他のもので代用していただく必要があります。		
	-	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	舞台設置範囲外であれば移動不要ですが、舞台設置の妨げとなる場合移動要。		
	-			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		縦方向に固定で設置している場合は舞台の妨げになるため実施できません。(縦方向に昇降式であれば問題ございません。)			
	可	公演に必要な電源容量			- ※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	可	本公演時、ワイヤレスマイク 2本使用(機材は楽団持込) 電源のみ借用いたします。(通常コンセンで対応可)							
	-	※ワークショップではピアノを使用いたします。(本公演では使用いたしません)							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m以上が望ましい	高さ	2.2m以上が望ましい
搬入車両の横づけの要否	要（応相談可）			
横づけができない場合の搬入可能距離	5m以内（応相談可）			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

プログラム

●オープニング ビゼー

／ ^{かけき}歌劇「カルメン」より ^{ぜんそうきょく}前奏曲

^{かけき} ^{だいひょうさく} ^{せかいてき} ^{にんき}
フランス歌劇の代表作として世界的に人気のある『カルメン』
^{ぜんそうきょく} ^{はな} ^{まくあ}
の前奏曲で、華やかにコンサートの幕開けです。

●楽器紹介

^{げんがっき} ^{もっかんがっき} ^{きんかんがっき} ^{だがっき} ^{はなし} ^{えんそう} ^{まじ} ^{しょうかい}
弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話と演奏を交えながら紹介していきます。

●オーケストラ演奏 マスカーニ

／ ^{かけき}歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より ^{かんそうきょく}間奏曲

●オペラ・アリア

～プロの歌手による^{かしゅ}歌声をお届けします～

プロのオペラ歌手の^{かしゅ} ^{うたごえ} ^き歌声を聴いてみよう♪

— 休憩 10～15分 —

●校歌合唱

～オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう!!～

●指揮者体験コーナー ビゼー

／ ^{かけき}歌劇「カルメン」より ^{ぜんそうきょく}前奏曲

^{きみ} ^{みらい}
君も未来のマエストロ♪ ^{しき} ^{たいけん}
オーケストラの指揮を体験♪

●共演コーナー

～合唱してみよう!～
^{すぎもとりゅういち}
杉本竜一

／ ビリーヴ

^{こども} ^{ゆめ} ^{きょうえん}
オーケストラと子供たちによる夢の共演♪

●オーケストラ演奏

チャイコフスキー／ ^{くみきょく}バレエ組曲「くるみ割り人形」より ^{はな}花のワルツ

^{ものがたり}
物語はクリスマスの夜のお話。おとぎの国の花たちが
^く ^{はな}
ハーブの音色に乗せて踊りだします。

◆アンコール

シュトラウス／ ^{こうしんきょく}ラデツキー行進曲

※ 上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいいしやげきだんうりんこ		
制作団体名	株式会社劇団うりんこ		
代表者職・氏名	代表取締役 児玉俊介		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒465-0018 愛知県名古屋市中東区八前一丁目 112 番地 (名古屋市交通局 市バス 宮根バス停)		
電話番号	052-772-1882	FAX番号	052-771-7868
ふりがな	げきだんうりんこ		
公演団体名	劇団うりんこ		
代表者職・氏名	代表 児玉俊介		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒465-0018 愛知県名古屋市中東区八前一丁目 112 番地 (名古屋市交通局 市バス 宮根バス停)		
制作団体 設立年月	1973年 5月		
制作団体 組織	役員 代表取締役 児玉俊介 運営委員長 佐々木政司 事務局長 西尾ひろみ	団体構成員及び加入条件等 団体構成員 32名 演技部 23名、制作部 9名 加入条件 一年間の付属演劇研究所卒業と入団試験での合格	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	西尾栄儀、西尾ひろみ
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	中村敬子

制作団体沿革	昭和４８年 劇団うりんこ創立。 昭和５１年 株式会社 劇団うりんこ設立。 昭和５４年 劇団うりんこ付属演劇研究所創立。 昭和５５年 名古屋市芸術奨励賞 団体賞受賞。 平成４年 愛知県芸術文化選賞受賞。 平成７年 (社)日本劇団協議会入会。 平成１３～１５年 文化庁芸術団体重点支援事業。 平成１８年 児童福祉文化賞「だってだつてのおばあさん」 平成２３年 名古屋市文化振興事業団『第２７回 芸術創造賞』受賞 平成２４年 児童福祉文化賞「ぼくってヒーロー？」 平成２５年 児童福祉文化賞「ねむるまち」		
学校等における 公演実績	平成２９年度 合計８作品 ３３５回 「罪と罰」８回 「学校ウサギをつかまえろ」５９回 「名探偵!山田コタロウ」４９回 「ダイアル ア ゴーストー幽霊派遣会社」１９回 「ともだちやーあいつもともだち」６４回 「はぐれ峠のわらい鬼」３１回 「海彦と山彦」３６回 「夜明けの落語」６９回 平成３０年度 合計８作品 ３６７回 「罪と罰」６回 「ダイアル ア ゴーストー幽霊派遣会社」２４回 「夜明けの落語」６５回 「ともだちやーあいつもともだち」６６回 「名探偵! 山田コタロウ」５９回 「学校ウサギをつかまえろ」８４回 「はなのき村」６２回 「ドン・キホーテ」１回 平成３１年度(令和元年度) 合計１０作品 ３３６回 「罪と罰」５回 「ダイアル ア ゴーストー幽霊派遣会社」１７回 「夜明けの落語」６６回 「ともだちやーあいつもともだち」４６回 「なんちゃってヒーロー」３２回 「学校ウサギをつかまえろ」８１回 「きみがしらない ひみつの三人」３１回 「海彦と山彦」８回 「はなのき村」４９回 「ドン・キホーテ」１回		
特別支援学校に おける公演実績	愛知県立港特別支援学校 ２００８年 ７月 １１日 愛知県立安城特別支援学校 ２００９年 ２月 １８日 栃木県立那須特別支援学校 ２０１６年 １１月 １４日 (本事業) 愛知県立豊橋特別支援学校 ２０１８年 １１月 ２１日 (本事業) 愛知県豊田市立特別支援学校 ２０１９年 ７月 ５日		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
	A	※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

劇団うりんこ

】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生				
企画名	ともだちやーあいつもともだちー				
本公演演目	演目:「ともだちやーあいつもともだちー」				
原作/作曲 脚本/振付	原作:内田麟太郎(「ともだちや」「あいつもともだち」「ともだちごっこ」偕成社) 脚本・演出:佃 典彦(B級遊撃隊) 美術:青木拓也 衣装:木場絵里香 音楽:内田アダチ 音響:椎名 KANS 振付:下出祐子				
	公演時間(65分)				
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演目概要	【あらすじ】 一人ぼっちで寂しがりなキツネは、ある日「ともだちや」を始めました。一時間100円で「ともたち」になってあげる商売です。のぼりを立て大声で「え～、ともだちやで～す。寂しい人はいませんか～？ 友達、一時間100円で～す」と呼びかけます。でも、友達って買えるのかな？ 本当の友達って、どんなんだろう？ 友達と心がすれ違っちゃったら、どうしたらいいんだろう？ ちょっとの勇気で、友達が増えるって幸せだね。「ともだち」との様々な心のやり取りを描いた演劇です。 【みどころ】 長年、子どもたちに大人気の絵本「おれたち、ともだち」シリーズの劇化です。低学年も高学年にも共感できる「友達との関わり」を描いており、興味関心を持って楽しく鑑賞できる演劇です。3人の俳優が9役を演じ、友達をめぐる様々な感情や関係の変化を描きます。また、舞台美術の変化や音楽の効果で季節の移り変わりを表現し、観客の想像力を刺激します。キツネやオオカミ、クマ、テン、ヘビなどの動物は、絵本に描かれている姿を忠実に表現しており、見た目にも見応えある演劇です。				
演目選択理由	「テンとけんかしちゃったけど、ごめんね、を自分で言えてたのが良かったなあ～」と思いました。」この劇を観て、友だちは自分の事をどう思っているのか、気になりました」これは、劇を観た児童の感想です。 友達とは、多くの喜びを共有し、苦しさや悲しみを分かち合う存在です。しかし、学校生活において人間関係のトラブルや、人間関係でのストレスを抱える事例も多くみられます。この演目には、子どもたちが日常やっている遊びや、感じていることがたくさん出てきます。友達と一緒に遊ぶ楽しさ、意地悪や、ヤキモチの気持ちも出てきます。低学年から高学年まで、幅広い年齢の児童にとって身近であり、興味深く鑑賞できる演目であることが選択の理由です。この「ともだちやーあいつもともだち」は、平成29年度厚生労働省社会保障審議会の児童福祉文化財特別推薦を受けています。				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【共演の形態】 共演の児童生徒は、20人程度(4年生以上)を予定しています。 登場人物のキツネが、オオカミの助けを得てヘビと友達になり、木の精を囲み登場人物たちが歌い遊ぶ場面での共演です。俳優と一緒に「だるまさんがころんだ」をアレンジした遊び「だるまさんが〇〇した」で遊びます。〇〇の部分では即興的に身体表現を行います。台詞も児童のアイディアを活かしてつくり、上演校独自の共演場面を創作します。				

	【体験の形態】 上演後、バックステージツアーを実施します。限られた運搬量の演目でありながら、見栄え良い舞台装置にするための工夫や、衣裳の早替えの工夫や、俳優が演技をしながら音響の操作を行うための工夫などを見学してもらいます。 舞台裏見学を通して演劇への興味を多方向から持ってもらう事で、舞台芸術に対する興味関心を喚起し、将来の芸術家育成や鑑賞能力向上に寄与したいと考えています。		
出 演 者	佐々木政司、和田幸加、山内庸平		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 3 名 <u>ス タ ッ プ: 1 名</u> 合 計: 4 名	機 材 等 運搬方法	積載量 1.15t 車 長 4.99m 台 数 1 台

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(2 時間程度)					
	到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去/積込	退出
	9:30	9:30～11:30 /11:30～12:15	13:30～14:35	無	15:00～16:00	16:00
※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。						
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	1 クラス程度(40 名程度)				
	本公演	250 名以下				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	【実施形態】 ①ワークショップの参加児童は、4 年生以上、1 クラス単位(40 名程度)を基本とします。 ②指導は、ワークショップ指導経験者が 2 名以上で行います。 ③共演場面の練習に限らず、“演劇的表現”を楽しむためのワークショップや、子どもたち相互のコミュニケーション力向上をはかる活動を実施します。 活動内容は、参加児童の学年や人数などによって調整します。 【実施内容】 ・実施決定後:ワークショップの内容、共演場面の内容に関しての詳細な案内を郵送します。 ・実施前の準備:共演場面の内容を漫画やイラストで書いた手紙を送ります。手紙を実施学級に掲示し、児童生徒に周知を図ってください。 【ワークショップ内容】 (導入)活動の目的と概要を伝えます。アイスブレイクのための活動(ジャンケンを使ったゲームなど)を行います。 (展開①)表現活動を行うための準備段階として、他者とのコミュニケーションを楽しむ活動を行います。想像を楽しむ活動と、小集団での創作活動(身体表現)、音楽と共に動きを楽しむ活動を行います。 (展開②)共演場面の内容を伝えます。遊びを発案する場面のセリフや、遊び場面での身体表現などを児童と共に考え、創作します。 (まとめ)共演児童を決定します。共演児童は、実際の舞台と同サイズにテーピングした場所を使い、参加共演場面を演じます。					
ワークショップ 実施形態の意図	・ 共演への期待と意欲を高めるために、事前に、共演場面の内容を漫画とイラストで書いた手紙を送ります ・ 鑑賞をより豊かな体験とするために、思いうかべる力(想像力)を使った身体表現活動を実施します。 ・ 小グループでの創作活動を行うことで、言語によるコミュニケーション(受信と発信)や他者との合意形成の体験をします。					

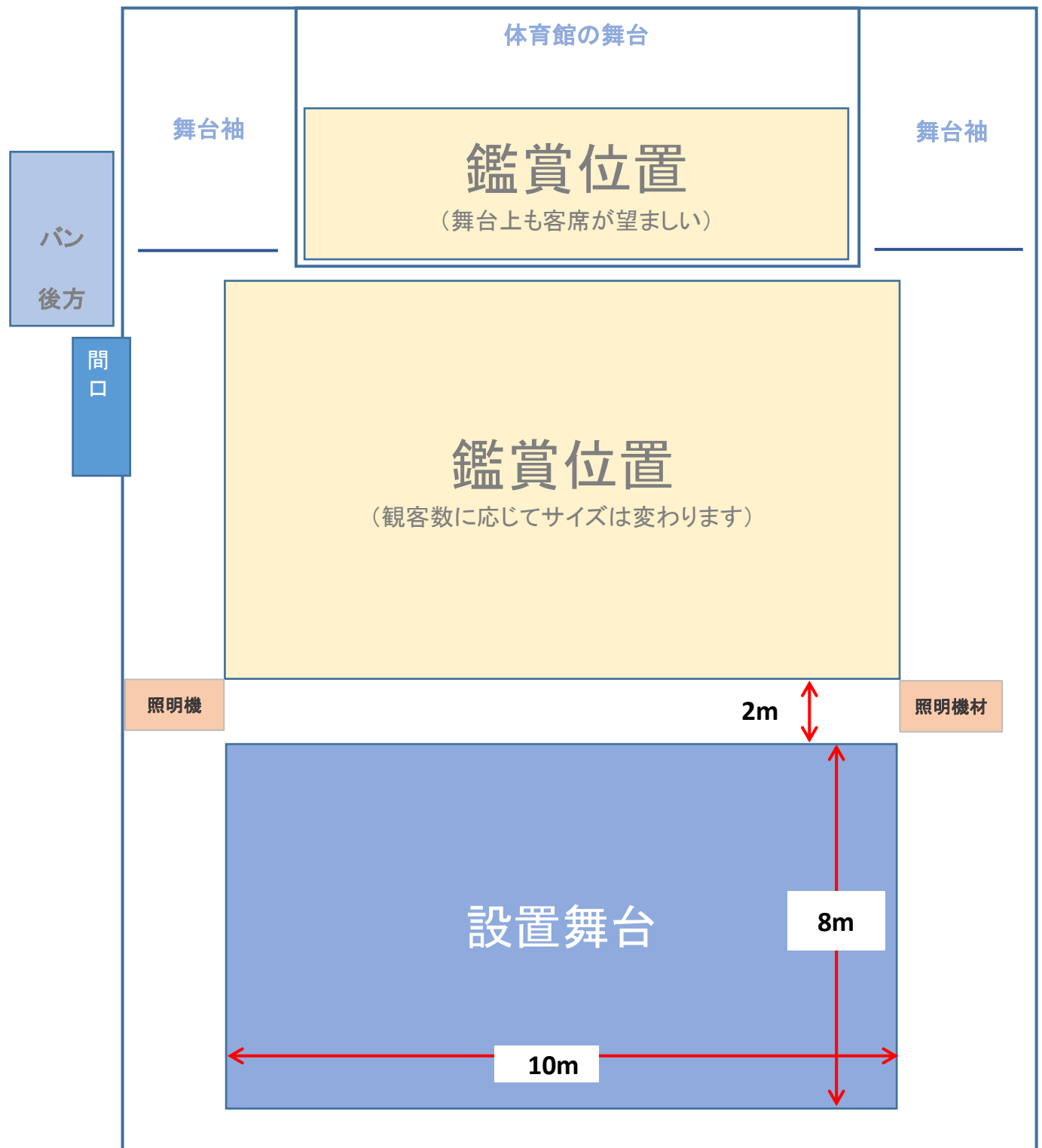
	・ 劇中で俳優と一緒に演じる体験を通して、鑑賞への期待を高めるとともに、共演する事への意欲を高めます。 ・ 児童がセリフを考えたり、共演場面の中に即興的な身体表現の部分を入れることで上演校独自のものをつくりあげ、児童の発想力を育みます。 ・ 自らのアイデアが共演場面の創作に活かされる体験を通し、自己肯定感や自信を育みます。 児童と劇団員(俳優)が共演し、一つの場面を共につくりあげる事は、協働の体験となり、本番を成功させたときの達成感は大きな成功体験となる事と考えます。 これらの内容は、すべての小学校において、特に変更なく実施することが可能です。
特別支援学校での実施における工夫点	特別支援学校においても、特に変更なく上演が可能です。 台詞や要約した物語などを、スライドで投影することが可能です(パソコンと、プロジェクター、スクリーンの用意は学校でお願いします)。 先生方と綿密に話し合い、必要に応じて共演内容などを工夫します。 児童が心身ともに安定した状態で鑑賞できるよう、また舞台をより身近に感じられるよう、上演の前後に出演俳優と触れ合う機会を設けるなど工夫をします。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	430	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	C区分
公演団体名	劇団うりんこ				制作団体名	株式会社 劇団うりんこ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件		特になし			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *				バン 1台			
	可	来校する車両の内, 横づけが必要な車両の大きさ				1. 15t バン			
	可	搬入車両の横づけの要否 *				要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *				30m以内			
	可	搬入経路の最低条件				雨天時、屋根のある経路が望ましい。			
		理由				濡れたくない道具あり			
	可	設置階の制限 *				エレベーターの設置等があれば2階以上も可			
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8		高さ	1.8	
WSIについて	可	参加可能人数			40人まで				
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *		高学年	
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			客席として、ステージとフロアを使用できる場合250人程度まで				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10	奥行	8	高さ	4
	—			舞台袖スペースの確保 *					
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの条件 *					
	緞帳 *					バトン *			
	—								
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *			※指定位置は会場設置図面に御確認ください。		
	ピアノの事前調律 *								
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			20A		※主幹電源の必要容量		
		その他特記事項							



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要 横づけが望ましい			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんかぜのこ		
制作団体名	有限会社 劇団風の子		
代表者職・氏名	代表取締役 大潤弘幸		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒192-0152 東京都八王子市美山町 1320-1 最寄り駅: 高尾(JR、京王線) バス停: 縄切(西東京バス)		
電話番号	042-652-1001	FAX番号	042-652-1013
ふりがな	げきだんかぜのこ		
公演団体名	劇団風の子		
代表者職・氏名	代表取締役 大潤弘幸		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒192-0152 東京都八王子市美山町 1320-1 最寄り駅: 高尾(JR、京王線) バス停: 縄切(西東京バス)		
制作団体 設立年月	1950年 7月		
制作団体 組織	役員 代表取締役 大潤弘幸 事務局長 高垣信子 制作部長 大森靖枝 創造部長 浅野井優子	団体構成員及び加入条件等 俳優 20名、制作 11名、文芸・演出 3名 加入条件 ・劇団風の子国際児童演劇研究所卒業及び一定の経験者 ・18歳以上の健康な方	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	吉野由起
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	西川恵美子

制作団体沿革	1950 年 7 月、子どもの為の専門劇団として創立。以来『子どものいるとどここへでも』を合言葉に、全国を巡演。 1983 年より全国に地域劇団風の子を発足させる。劇団風の子北海道、劇団風の子中部、劇団風の子関西、劇団風の子九州がそれぞれ法人独立し、現在「有限会社劇団風の子」は首都圏を拠点に活動している。		
学校等における 公演実績	2019 年度公演実績 小学校公演:3 作品 237 公演 「スクラム☆ガッシン」82 ステージ、「ペコと秘密の樹」109 ステージ、「風の子バザール」46 ステージ 幼稚園・保育園・子ども劇場その他の公演:11 作品 677 公演 「まるさんかくしかく」203 ステージ、「ポロロンシアター」109 ステージ、「風の子バザール」129 ステージ、「風の一座」46 ステージ、「小さい劇場」42 ステージ、「とんからり」33 ステージ、「ソノヒカギリ美術館」32 ステージ、「ないしょないしょのしっぽがぼん」26 ステージ、「ペコと秘密の樹」16 ステージ、「黄金の実」16 ステージ、「スクラム☆ガッシン」25 ステージ		
特別支援学校に おける公演実績	東京都立南大沢学園、岡山県新見市健康の森学園、宮崎県日南市くろしお支援学校、福島県会津若松市特別支援学校、広島県庄原市特別支援学校、埼玉県日高市特別支援学校、静岡県伊豆の国市東部特別支援学校、青森県青森市青森県立青森若葉養護学校、北海道黒松内町北海道余市養護学校しりべし学園分校、北海道札幌市手稲養護学校		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名 劇団風の子 】

対 象	小学生(低学年・ <u>低学年・中学年・高学年</u>)・中 学 生			
企画名	みて、さわって、あそべる、ソノヒカギリ美術館 OPEN!!			
本公演演目	「ソノヒカギリ美術館」 原案/村井昌世 作/ソノヒカギリ美術館製作委員会 構成・演出/大瀬弘幸 美術/ナカムラジン 身体表現/若林こうじ 音楽/青柳拓次 制作/浅野井優子			
	公演時間(60 分)			
著作権	☐	制作団体が 所有		制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	ソノヒカギリ美術館は言葉の通りその日一日限りの美術館です。子どもたちが美術館を訪れるお客さんという設定で、ストーリーはありますが、子どもたちと俳優が創り上げるその日ならではのライブ感のある体験型演劇です。 【あらすじ】 ソノキニ・ナールさんとソノバ・シノギさんはソノヒカギリ美術館の学芸員です。毎日あちらこちらで一日限りの美術館を開催しているのですが、今日はこの小学校の体育館でソノヒカギリ美術館を開くことになりました。校長先生から依頼のお電話をいただいたのです。 児童の皆さんがやってきました。あら大変、まだ準備中なのに！あわてて大きな箱を開けたり包みを解いたりする二人。そこに一人の子どもが迷い込んできました。名前はアキ。 アキは箱の上に乗ったり、包んであった大きな紙をガサガサしたり放り投げたりして遊び始め、ナールとシノギはちっとも仕事がはかどりません。展示された立派な美術作品さえもアキにとっては格好の遊び相手。ナールとシノギは何とか準備を進めようとしませんが、ついアキのペースに乗せられて二人も遊び始めてしまいます。 遊んでいるうちにシノギが額縁の中に閉じ込められて絵になってしまいました。アキとナールはどうしたらシノギを助け出すことができるでしょうか。ソノヒカギリ美術館は無事オープンできるのでしょうか！？			
演 目 選 択 理 由	「遊び」と「芸術」は子どもが豊かに育つために必要不可欠のものです。ソノヒカギリ美術館はこの二つの言葉をキーワードに舞台とアートがコラボレーションした体験型演劇です。 美術館は静かに絵や彫刻を鑑賞する場所というイメージを持つ人が多いと思いますが、ソノヒカギリ美術館は子どもたちの声が飛び交いとても賑やかです。絵に思い思いの題名を付けたり、ピクトグラム(非常口等に使用されている絵文字)をモチーフにした作品と一緒に作ったり、額縁を使った表現遊びなど、子どもたちの自由な想像力と創造力を引き出し、一人ひとりの発想を大事にし、違いを感じ認め合うことができる美術館なのです。 子どもたちが展示された美術作品と劇空間を楽しみ、そして自ら表現することも楽しみながら、お互いの存在そのものが唯一無二のアートであることを、理屈ではなく体感し共有することを願っています。			

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	①ワークショップで製作した児童の作品を舞台美術として展示させていただきます。公演の中盤で学芸員のシノギが額縁の中に閉じ込められ出られなくなってしまい、どうしたら出られるのか「絵に聞いてみる」場面で、俳優がその作品と会話をします。シノギが額縁から出られるヒントを子どもたちの作品が教えてくれるという設定で、その作品ならではの会話を俳優は即興で考えます。 ②公演の中盤でピクトグラム（非常口等に使用されている絵文字）を使って子どもたちに絵を作っていただきます。マグネットシートを切り出して作った色とりどりの様々な形のピクトグラムを用意しますので、ソーシャルディスタンスを保ちながら、それぞれ気に入ったものを選んでみんなで一枚のパネルに貼っていただきます。単純な形のピクトグラムがたくさん集まると思いがけない楽しい絵が出来上がります。担任の先生や校長先生に即興でタイトルを付けていただき出来上がりです。これも展示作品として飾ります。 ③公演の後半で大きな額縁を使って子どもたちに一枚の絵になっていただきます。密を避けるため4～5人ずつのグループに分かれ、額縁で切り取られた空間の中で、それぞれがタイトルやキーワードからイメージして身体や顔の表情で表現をする演劇的遊びです。 劇中で、シノギが展示するはずの絵を忘れてきてしまいとても落ち込みます。子どものアキは空っぽの額縁でその姿を切り取り、「しょんぼりシノギ」とタイトルをつけ絵にして面白がります。これを額縁を使った表現遊びに発展させて、演じる子どもたちも見る子どもたちも楽しめます。 ④公演の最後にいよいよソノヒカギリ美術館がオープンします。学年毎に作品を間近でゆっくり鑑賞しながら退場、出口にはピクトグラムと大きなパネルを新たに用意しておきますので、自由に遊んでから教室に戻ってください。		
出演者	菅原武人・宮澤衣路・藤本秀男（予定）		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出演者： 3名 スタッフ： 1名 合計： 4名	機材等 運搬方法	積載量 1t 車長 4.69m 台数 1台

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無)会場設営の所要時間(2 時間 30 分程度) <table border="1"> <tr> <th>到着</th><th>仕込み/ワークショ ップとリハーサル</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr> <tr> <td>8:00</td><td>8:00～10:30/ 10:30～11:15 11:20～12:05</td><td>13:30～14:30</td><td>0 分</td><td>14:30～16:00</td><td>16:10</td></tr> </table>						到着	仕込み/ワークショ ップとリハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	8:00	8:00～10:30/ 10:30～11:15 11:20～12:05	13:30～14:30	0 分	14:30～16:00	16:10
到着	仕込み/ワークショ ップとリハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
8:00	8:00～10:30/ 10:30～11:15 11:20～12:05	13:30～14:30	0 分	14:30～16:00	16:10													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	①20 人 ③20 人 (全校生徒の人数による。少なければ全員も可能)																
	本公演	①20 人 ②20 人 ③20 人 ④全員 (最大観客数 150 人)																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	事前に各学校に作品全体が分かる DVD、ワークショップの内容と目的、準備していただくもの等の明細をお送りします。各学校で参加学年を決めていただきます。②と④のワークショップはありません。 ①舞台美術として展示する作品を作ります。身近な素材(葉っぱや枝、石ころ、新聞紙やチラシ、ダンボールなど)を使い、一人ひとりの作品は簡単で単純な造形にして、それを並べたり重ねたりすることで全員の合同作品として力のある作品に仕上げます。 ③身体や顔の体操、表現遊びをし、次第に心も身体も開放していきます。その後グループに分かれて、額縁を使って切り取られた空間の中で絵になる表現をします。タイトルやキーワードからイメージした一人ひとりの発想と表現を大事にします。																	
ワークショップ 実施形態の意図	ドラマの内容を観客も出演者も一緒にハラハラしたり応援したり、喜びを共有したりすることが、生の舞台の醍醐味です。今回は特に、子どもたちが作る作品や表現が本番の中で重要な役割を担っています。 一人ひとりの表現が他者の表現とつながり、重なり、呼応して、それが芝居の中で生きる喜びを体感してほしいと願っています。																	
特別支援学校で の実施における 工夫点	①学校に子どもたちが作った作品があれば、それを工夫して展示させていただきます。 ②本番ではパネルとピクトグラムを客席の中に持っていき、先生に協力していただいてその場で貼りつけることができます。 ③こちらから額縁を客席に運び、その場で身体を動かすなど、それぞれの可能な表現の仕方で切り取りアートを皆で共有して楽しんでほしいです。 ④なるべく作品を近くで見ながら退場できるよう、先生方に協力していただきます。																	
実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。																	

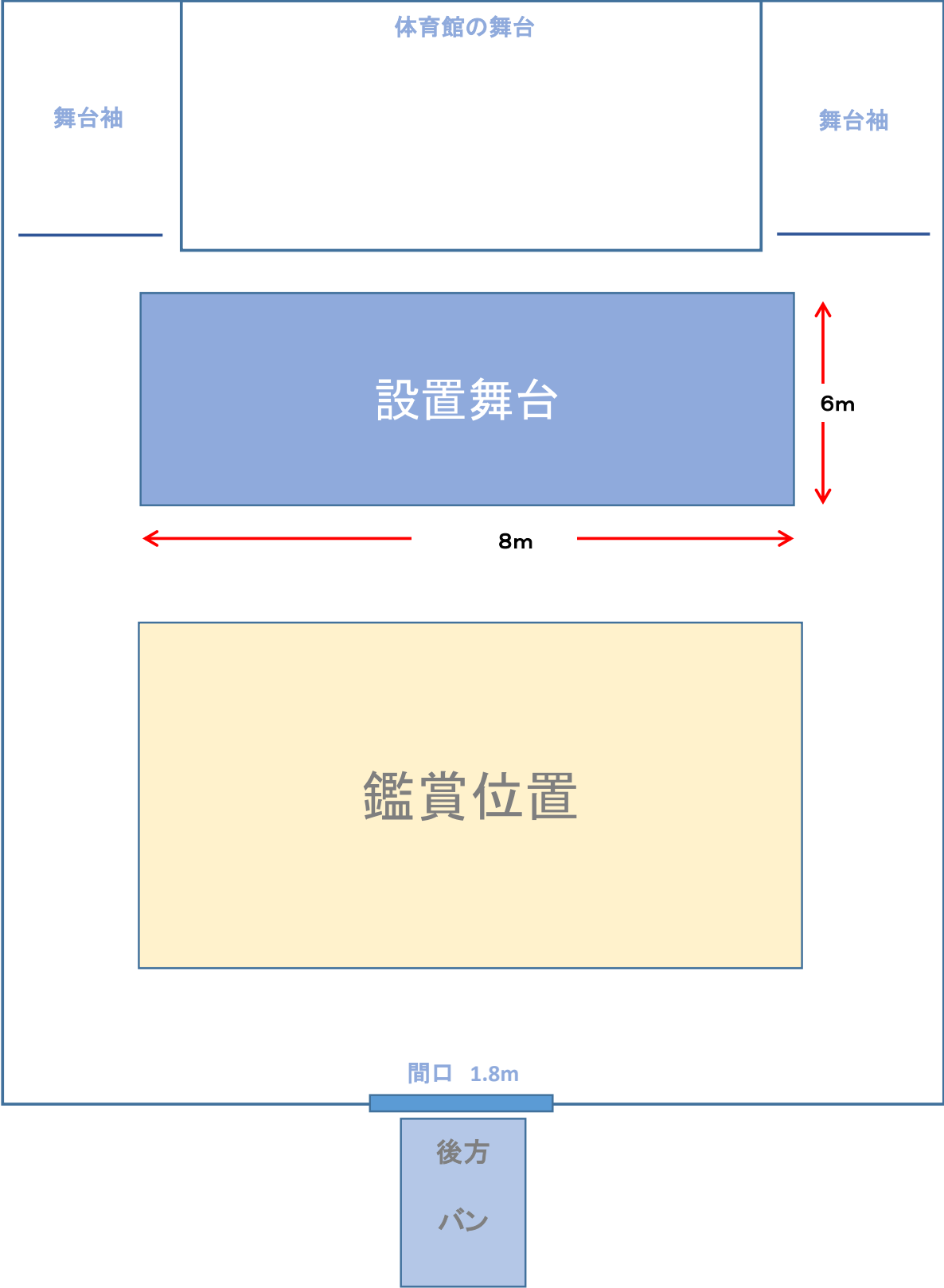
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	438	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	C区分
公演団体名	劇団風の子				制作団体名	有限会社 劇団風の子			

① 会場条件等についての確認

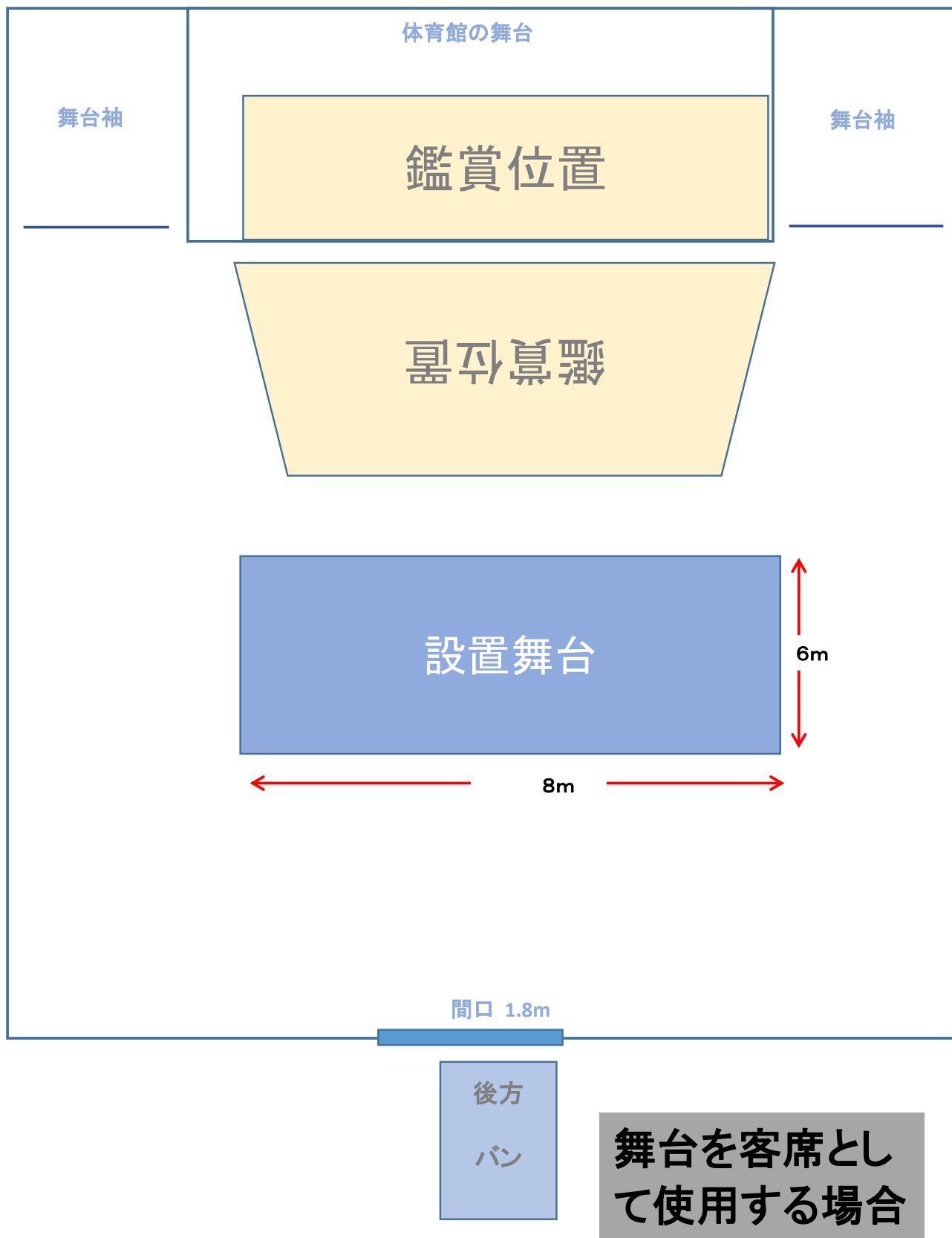
項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数 *	1室	条件	廊下や外から見えないようカーテンがあることが望ましい。体育館内でまかなうことも可。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン			
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内			
	可	搬入経路の最低条件			・入口、経路、階段とも幅1.8m以上が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。			
		理由			舞台大道具の搬入をするため			
	可	設置階の制限 *			問わない			
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	2.2m		
WSについて	可	参加可能人数		①(作品づくり)最大20人／③(表現遊び)最大20人				
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分		90分(45分×2)				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイム スケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		150人				
	可	舞台設置場所 *		フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	8m	奥行	6m	高さ	指定なし
	—	体育館の舞台を使用する 場合の条件		舞台袖スペースの確保 *		不要		
	舞台袖スペースの条件 *							
	緞帳 *			不要	バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	直射日光が入る部分は閉める		
	—	ピアノの調律・移動の要 否		指定位置へのピアノの 移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。		
	ピアノの事前調律 *			不要				
	—	フロアを使用する場合の 条件	バスケットゴールの設 置状況 *	格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		40A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

ソヒカギリ美術館

ひじょうかん

原案／村井昌世 作／ソヒカギリ美術館製作委員会 構成・演出／大潤弘幸
美術／ナカムラジン 身体表現／若林こうじ 音楽／青柳拓次 制作／浅野井優子



あらすじ

ソノキニナルさんとソノバシノギさんはソノヒカギリ美術館の学芸員です。今日はここ、この場所でソノヒカギリ美術館が開かれます。お客さんがやってきました。あら大変、まだ準備中なのです。大慌てで荷解きをする二人。そこに迷い込んできた子ども、アキ。梱包の紙をガサガサしたいビリビリ破りたいしてあそび始め、ナルとシノギはちっとも仕事はかどりません。二人が並べた美術作品さえもアキにとっては格好の遊び相手。

さて、ソノヒカギリ美術館は無事、オープンできるのでしょうか。

ようこそ 美術館へ

美術館と言えば、静かに絵や彫刻などを鑑賞する場所というイメージをもつ人が多いと思います。なぜ、そう思うのでしょうか？

子どもの頃、泥だんごを作るために泥の中に手を突っ込んだ感覚は大人になってからも忘れません。指と指の間から、ぐにゅとすり抜けていく泥、時に生温かく、時に冷たく、そんな泥を丸めて、丸めて、乾燥させて、磨いて、つるつるの泥だんごにしていく。そんな手の感触に残るような芝居を創ってみたいと思いました。

砂場で子どもたちがいろんなものを創る、そして、それはソノヒカギリ。創っては壊し、創っては壊す。子どもたちの前で劇をするということ自体がソノヒカギリ美術館かもしれません。

構成・演出 大淵弘幸

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんかいしゃ ぱっくはんまいむこうぼう		
制作団体名	有限会社 PAC 汎マйм工房		
代表者職・氏名	荒井範昭		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒137-0037 東京都板橋区小茂根 4 丁目 2-19 (副都心線・有楽町線 小竹向原 / バス停 小茂根)		
電話番号	03-6905-8908	FAX 番号	03-6905-8909
ふりがな	げきだん はんまいむこうぼう		
公演団体名	パントマйм&クラウン 「劇団汎マйм工房」		
代表者職・氏名	主宰 あらい汎(荒井範昭)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒137-0037 東京都板橋区小茂根 4 丁目 2-19 (副都心線・有楽町線 小竹向原 / バス停 小茂根)		
制作団体 設立年月	1985 年 10 月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 荒井範昭	制作事務 2 名 劇団員 6 名 準劇団員 3 名 研修生 5 名 研修生・面接試験 準劇団員:2 年研修後劇団員:4 年活動後	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	荒井範昭

経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	大久保裕二
制作団体沿革	舞台芸術学院 15 期卒、新劇劇団養成所、児童劇客演を経てグループ「ザ、パントマ」と出会いパントマイムを始めた「あらい汎」が、ヨネヤマママコ女史と出会い、助手、助演者として活動。その間アメリカ、ヴィスコンシンの「ヴィテルボカレッジ」にて、マイムクラウンの講習に参加。この間、太田省吾主宰の「転形劇場」に 10 年在籍。 1976 年独立。養成スタジオ「汎マイム工房」三軒茶屋にてスタート。 1982 年(有)汎マイム工房として池袋に劇団設立。劇団公演及び研修生発表会を毎年公演。あらい汎は、TV 番組 TBS の「ワンツージャンプ」フジ TV の「ひらけポンキッキ」にレギュラー出演。この年、あらい汎、イタリア、マイムフェスティバルにて「マイムドラマ「男のヴァラード」でマイムソリスト賞受賞。1983 年黙劇「待合室」でグランプリに輝く。 1986 営業事務所(有)PAC を設立。練馬氷川台倉庫(旧転形劇場 T2 スタジオ)に移転。遊園地、ホテル、デパートイベントに進出。 1990 年付属養成所はアメリカのリングリングサーカス主催のクラウンカレッジ、イン、ジャパンと合併。パントマイムとクラウンの養成所として拡充。鑑賞団体「親子劇場」に参加、年間 75 ステージなどを実施。小中高校公演、大学祭参加のほか、海外公演への積極的派遣。イタリア、フランス、ギリシャ、ブルガリア、ポーランドなど。ユーゴセルビアの孤児難民施設慰問公演。 あらい汎、大学、劇団養成所、専門学校、等での育成講座多数。 2002 年児演協に加盟。児童青少年の為の公演に多数参加。2013 年 8 月、2 社合併 板橋に事務所、稽古場、倉庫を移転。 文化庁主催事業、巡回公演、派遣事業に積極的に参加。児童館、小学校、中学校、高校公演。地域の催事にも参加、養成機関歴 40 年以上。パントマイムの普及にも力を注いでいる。		
学校等における 公演実績	1976 年より「パントマイムサーカス」を遊園地、小学校、幼稚園、保育園での上演を始める。1980 年マイム劇「男のバラード」発表と同時にマイムバラエティー「道化師博覧会」を発表。オムニバス作品を、小学校向け、中学校、高校向けと編成。幅広い学校公演を目指す。1989 年小中学校向け「ピエロマイムファンタジー」を構成。学校公演のほか、全国親子劇場で上演。年間 75 ステージを数える。1995 年高学年向けとして「道化師芝居シリーズ」を発表。全国鑑賞団体、文化庁本物の舞台、他大学、高校での公演に招かれる。 9 人編成の「ザ、パレード」6 人編成の「リトルパレード」2 人編成の「ふたり」など、希望に応じて公演を実施。2004 年より「あらい汎ソロマイム」の巡演もスタート。 2012「道化師芝居」16 回 ピエロマイム 8 回 2013「ピエロマイム」8 回「道化師芝居」2 回 2014「道化師芝居」8 回「ピエロマイム」23 回 2015「ピエロマイム」9 回 2016「ピエロマイム」15 回 2017「ピエロマイム」17 回「道化師芝居」3 回 2018 あらい汎ソロマイム 2 回 ピエロマイム 4 回 道化師芝居 2 回 2019 あらい汎ソロマイム 3 回 ピエロマイム 4 回 道化師芝居 2 回 2020 年新型生コロナ禍の為公演中止。 以上以外に、文化庁本物の舞台、巡回公演事業、厚生労働省公演などがある。		

特別支援学校における公演実績	神奈川県清川ホーム(2006年～2011年、年変わりで作品変更) 平川病院(2006年～2013年により作品変更で上演) 2014 北茨城特別支援学校 長崎県大村支援学校、富山県立しらとり支援学校、 福井県立ろう学校 2015 広島庄原特別支援学校 島根出雲養護学校 東京立川ろう学校 2016 徳島聴覚支援学校 阪神特別支援学校 久留米聴覚支援学校		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	http://www.hanmime.com
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容

【公演団体名 汎マイム工房 】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生			
企画名	あらい汎の「マイム・ひとり旅」			
本公演演目 原作 / 作曲 脚 本 演出 / 振付	あらい汎の「マイム・ひとり旅」 構成・演出 あらい汎 公演時間(75 分)			
著作権	☐	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	1. クラウンの登場:山高帽に茶色のボストンバッグ。旅の道化師「あらい汎。」 ボストンバッグが突然動かなくなり、帽子が勝手に動き出します。中央に座り込 む汎。目の前に見えない幕。パントマイム劇場の始まりです。 2. 光との戯れ。 3. 御挨拶。 4. マイムドラマ「風船」子供からもらった風船で老人が思い出の旅に出ます。 5. あらい汎のマイムの旅のお話し 6. マイム詩集「北原白秋作 薔薇」 7. マイム教室と道化師の話 8. マイム「道化師の綱渡り。」 9. パントマイム教室そして客席と一緒に「マスクマイム」 10. マイム詩集「雨ニモマケズ 宮澤賢治」 11. フィナーレ			
演 目 選 択 理 由	道化師は、何処にでもいるキャラクターです。どこかで会った事のあるキャラク ターです。 つまり、特別な設定や、役柄ではなく今ここで起こる、ここにいる人間のドラマを 観客と共有することになります。クラウンは、子どもの心に棲んでいるキャラクター であり、自分の仲間の事として体験し自己と同一の発想として鑑賞してもらえま す。また、言葉無き行為故に、自らの言葉で解釈することとなり、コミュニケーション 能力の向上に役立ちます。登場人物が操る高度なマイムテクニックを目にし、 人の能力の可能性、即ち自分の中にもある可能性として観て頂けると確信してま す。 各作品の合間に、パントマイムやクラウンの語源や歴史、海外、国内を旅して出 会った人々の話、を交え作品の出来た経緯を紹介します。			

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1 公演前、の体育館を劇場にする準備。体育館と劇場の違いを説明しながら舞台と、客席を作ってゆきます。舞台袖の整備。舞台用語と共に、舞台の使い方が、児童心理学を基本に考えられている事を説明してゆきます。 舞台の作り方を知りながら、学校、教室など、身の回りの環境を考える一助にと考えております。 2 見ていて不思議なマイムテクニック。無いのにあるように見えるマイムテクニックを発表します。壁のマイム。簡単ではないけれど、身体で具体化できる喜びを感じてほしいです。 3 創作コーナー。植物(木、花)の種から成長、そして寿命で枯れ、種に戻るまでを発表します。 最初は、一人ずつのソロマイム。次は、5～6 人のグループでのアンサンブルマイムの発表。グループによる発想の違い、取組みの違いを創造し、鑑賞します。 4 客席に座ったままでもできるマスクマイムを全員でやってみます。笑い顔と、泣き顔をマスクにして、つけたり外したりのマスクマイム。楽しい遊びが創造の基本です。 5 ボールジャグリング大会を行ないます。3 個でやるカスケードが目標ですが、1 個の基本が大事なる事を説明。1 個ボール、2 個ボール、3 個ボールと進み、優勝者には、劇団から夢のプレゼント。積み重ねが大切です。		
出演者	あらい汎 キャスト (マイム教室、発表会担当) 林ゆうこ 計 2 人		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 2 名 スタッフ: 3 名 合 計: 5 名	機 材 等 運搬方法	積載量 1.5 t 車 長 4.8 m 台 数 1 台



公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(3 時間程度) <table border="1"> <tr> <th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr> <tr> <td>8 時</td><td>9 時～11 時 11 時～12 時生徒 稽古 食事・メイク</td><td>13 時 30 分～ 14 時 45 分</td><td>0 分</td><td>15 時～ 17 時</td><td>17 時 3 0 分</td></tr> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8 時	9 時～11 時 11 時～12 時生徒 稽古 食事・メイク	13 時 30 分～ 14 時 45 分	0 分	15 時～ 17 時	17 時 3 0 分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
8 時	9 時～11 時 11 時～12 時生徒 稽古 食事・メイク	13 時 30 分～ 14 時 45 分	0 分	15 時～ 17 時	17 時 3 0 分													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	児童生徒の参加可能人数 20名の高学年																
	本公演	150名																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	ワークショップの参加可能人数は、30人から50人位を想定しております。また学年は、小学校高学年(5. 6年生)から中学生を対象に行っております、ご担当先生と相談しながら決めてまいります。 イントロダクション ピエロになろうワークショップという題名で進行します。まず、ピエロをみんなで思い起こします。様々な意見が出てきます。その意見を基に道化師の歴史のお話。クラウンの意味などを話しながらに白板にピエロの姿を描き出して行きます。クラウンは、いろんなスキル、テクニックを必要とします。その中でクラウンになる為に、今日は、パントマイムと、ジャグリングをやってみます。パントマイムを見たことのない子供、パントマイムの一部のテクニックしか知らない子の為にマイムの短編作品「老人と風船」を見てもらいます。 鑑賞。 一人ぼっちの老人が公園にやってきます。一人の子供が現れます。風船を拾ったようです。中々膨らみません。老人がやってみます、膨らみません。引っ張ったり叩いたり。ダメです。2 人で引っ張ってみます。ダメです。あきらめた子供は、違う遊びを見つけたのか走り去ります。一人残された老人。風船と格闘、と、風船が膨らみます。放すと客席に飛んでゆきます。子供たちと一緒に探します。一人の子供の頭の上にありました。老人は。再び挑戦。大きく膨らむ風船。おおきな風船を投げたり転がしたりしている内に風船は、老人を連れて空に浮かんでゆきます。老人と風船の空の冒険が始まります。肉体表現の面白さを知ってもらいます。 ウォーミングアップ パントマイムの特徴を話し合います。無言、無対象、道化師。不思議な表現方法ではなく皆が日常普通にやっている表現方法である事を知ってもらいます。 表現したくなる身体が発見。⇒参加者で埋める空間。地面や空を身体で埋めてゆきます。身体の自由な発想には、共通、似通ったところがあります。これが肉体表現が世界にも通じる根拠です。物真似ごっこなどで、身体と心を開放してゆきます。 身体の表情⇒つま先歩き、踵歩き、ベタ足歩きで気分が変わります。身体の色々な部分を動かし、意識する事で、身体には色々な身体のある事を発見します。																	

	身体表現・マイムテクニック⇒重さの表現は実際に重い身体を作り出すことです。壁のマイムではもう一度壁に触れ、壁を観察し直し、感じた事を言葉にし身体で作り出し、初めて表現する事ができます。身体が、壁を真似しているのです。 創作活動・木や花をマイムする⇒参加者全員が種になり、育ち、花咲き、実を着け枯れて種に戻るまでを演じてもらいます。初めは一人で、次には5人位のアンサンブルで。アンサンブルでは、それぞれのグループで、植物、木や花からいろんな言葉や、状態を見つけ出し、それぞれの植物マイムを作り出してゆきます。発表会。感想。 ジャグリング・物と遊ぶ⇒身近にある生活用品で遊んだのが始まりです。物との素朴な関係と、物を観察する事で物の特徴を知り操ってゆきます。3個に行くために1個での訓練が大切であることを知ってゆきます。観察し、努力して生み出された見事なテクニック。ボールジャグリングを体験してもらいます。  グループでの花のパントマイム創作で相談する子供たち 話し合い 感想質問 次にやってみたいこと
ワークショップ 実施形態の意図	特殊だと思われるパントマイムの表現方法は、人々の日常生活の中にいっぱい転がっている表現である事を知ってもらい、マイムは特殊な方法ではなく、日常の中で頻繁に使われている所作である事を知る。 身体を持っている多様な表情を知り、それが自己表現(コミュニケーション)の道具となる。他者も自分の想いを体で表現している事を知り、人の沈黙や体の表情にたくさんの思いが潜んでいる事を知ってゆく。 パントマイムは、色々な物まねが原意です。真似する事で物や、人の心に近づけます。 木や花をマイムする⇒参加者全員が種になり、育ち、花咲き、実を着け枯れて種に戻るまで。 ジャグリング体験では、身近に転がっている物から新しい発想を持ち、やれば必ずできるという自信と、自分への可能性を知ってもらいます。
特別支援学校での実施における工夫点	パントマイムは色々な物真似という意味です。日常生活で見たり聴いたりしている物を真似してみます。その身体能力によって手のみ、顔のみで真似をして見ます。その真似を互いに伝えていきます。 例えば座っていても出来るマイムテクニックを向かい合ってやってみます。 ジャグリングは、その身体能力によって仲間や付き添いの先生との投げあい、又は、手渡しリレー等とアレンジしてゆきます。

実 施 可 能 時 期

実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

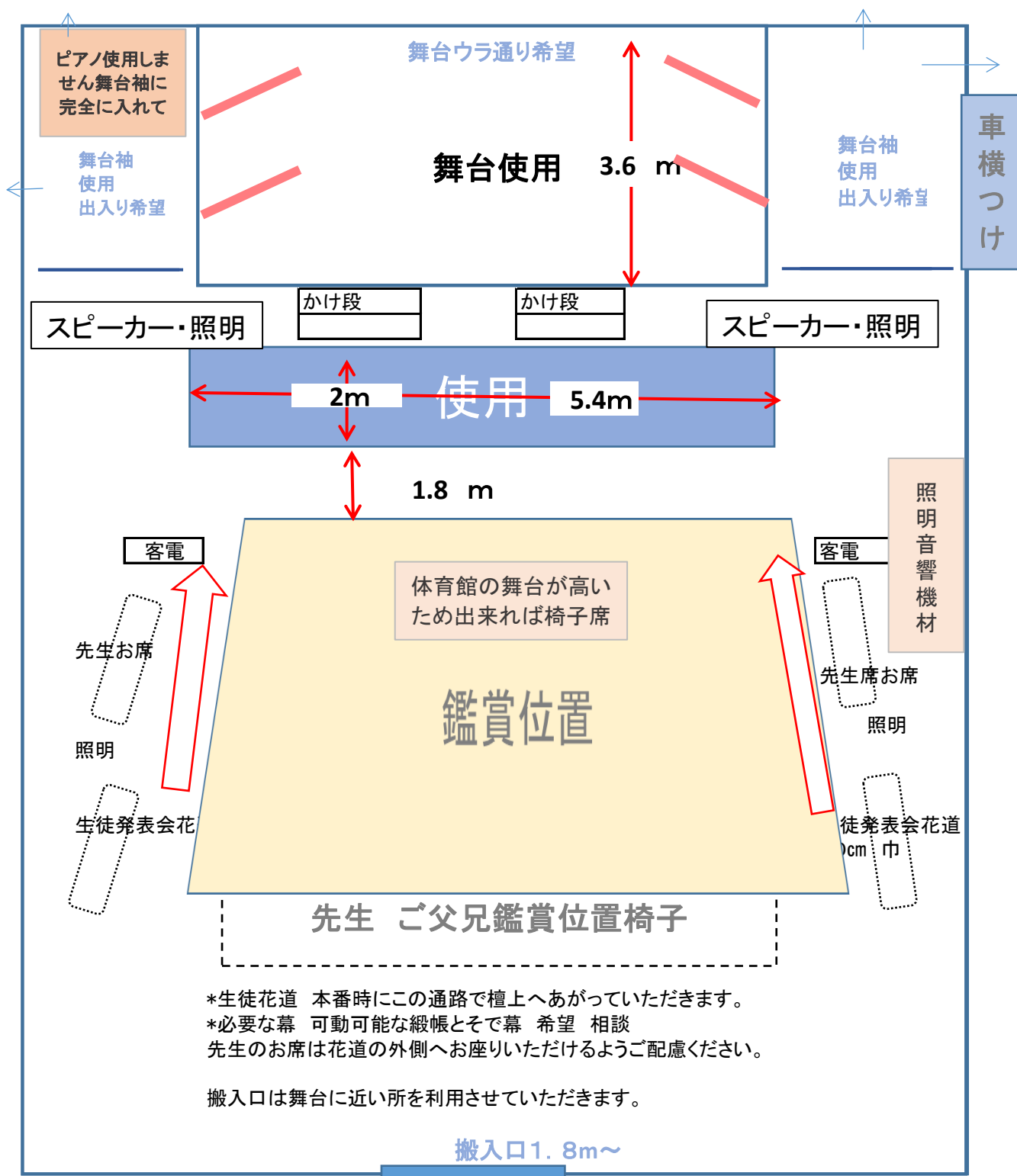
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1326	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック		区分	C区分
公演団体名	パントマイム＆クラウン「劇団汎マイム工房」				制作団体名	有限会社PAC汎マイム工房			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件		体育館近め 水回り使用 トイレ近く希望。窓目隠し * 理科室・調理室代用可能			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン 1台				
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			499cm×169cm 高さ228cm				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			平地10m程度 台車必要				
	可	搬入経路の最低条件			出来れば平地雨天時は雨を避けて通る。搬入時に幕、照明音響機材、パネル 衣装道具があるため				
		理由			音響機材 砂袋など重量がある物があるため				
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	180cm	高さ	200cm			
WSについて	可	参加可能人数		20人					
	不可	学年の指定の有無 *		あり	指定学年 *	高学年小学校5.6年中学生			
	可	所要時間の目安 単位:分		120分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		150人					
	可	舞台設置場所 *		基本は舞台ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	540cm	奥行	360cm	高さ	360cm	
	可		舞台袖スペースの確保 *		要 出演者待機と道具を置く				
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態				
	可		緞帳 *	要	バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	集中させるため			
	不可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動 *	要	※舞台外へ会場設置図面に記載して御確認ください。				
	可		ピアノの事前調律 *	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	可	会場が2階より上の場合、道具搬入のお手伝いをお願いします。							
	可	舞台面につけ階段が必要です。無い場合は代わりになる箱、台をお借りします							
可	客席側の窓に暗幕が無い場合はマットなどで代用いたします。								

会場図面(表記単位:メートル)



舞台使用時

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。